

島根大学研究見本市

研究テーマ名 教師・教員志望学生の実践的知識に関する研究

(英訳) Research on in/pre-service teachers' practical knowledge

研究者紹介

深見 俊崇 教育学部 准教授

Toshitaka FUKAMI Department of Education, Lecturer

概要

教師教育研究において、被教育体験や実践経験によって形成される教師や教員志望学生の実践的知識が着目されています。なぜなら、講義や研修などで取り上げられる内容の理解を促したり、妨げたりするだけでなく、実際の教室で起こる様々な出来事の解釈や意味づけの基盤となっているからです。しかし、それらは経験によって形成されてきたものであるからこそ、暗黙的なものとなっていて自覚しにくいものです。

筆者は、授業や教師を何かに喩え、それを説明することで暗黙的なものを明確化・具体化するメタファー法を用いた研究を行ってきました。質問紙調査に基づいた教師・教員志望学生のイメージの傾向性や教育実習や現職経験を経てのその変容などを追究してきました。

さらに、共同研究として、イメージマップとインタビュー調査を併用した研究によって実践的知識に迫る研究も行っています。

特色
研究成果
今後の展望

これまでの研究において、被教育体験によって形成されたイメージが様々な経験を経ても維持される場合や、教育実習での指導教員の考え方や指導方針に強く影響される場合があることなどを明らかにしてきました。

とりわけ、イメージの変容をもたらす契機として、自身のイメージとは対照的な出来事に遭遇し、葛藤を生じることが鍵となることを明らかにしてきました(例:教育実習における指導教員以外の教師からの指摘、初任教師が子どもの対応で困難を感じる場面など)。

過去の再生産や慣習的なものを乗り越え、新たな実践を創造するためにも、教員養成段階において、被教育体験によって形成されたイメージを再構成する必要が求められおり、イメージの変容を基盤に講義・演習の工夫や、新たなプログラムの開発を行っています(例:教員志望学生のカリキュラム開発力量に資するワークブックの開発【科学研究費補助金・若手研究B】)。

キーワード

教師教育・教員養成・実践的知識・メタファー・教育実習・教師の成長・校内研修

リンク

(大学) <http://www.edu.shimane-u.ac.jp/staff/staff35.html>
(個人) <http://fukami.sakura.ne.jp/>